

第37回日本緑内障学会

ランチョンセミナー 7

これから始めるグリーンレーザーECP —経験者からのメッセージ—



座長

たに と まさ き
谷戸 正樹 先生
島根大学医学部眼科学講座
教授

座長のことば

ECP (Endoscopic Cyclophotocoagulation) は、毛様体突起を直接観察しながらレーザー照射を行うという特徴を有する緑内障手術であり、近年、新たな治療選択肢として注目されています。一方で、「どのような症例に適応すべきか」「どのように導入すればよいのか」「実際の手術手技や術後管理はどうすればよいのか」といった疑問をお持ちの先生方も少なくないと思います。

本セミナーでは、実際にグリーンレーザーECPを導入し経験を重ねている先生方にご講演いただきます。まず導入を検討されている先生方に向けた基本的な考え方と手技のポイント、続いて導入後約1年半の経験から得られた知見、さらに経験豊富な施設ならではの症例選択や治療戦略、実臨床での活用法についてご紹介いただく予定です。これからECPを始めようと考えている先生方にとっても、すでに導入されている先生方にとっても、明日からの診療に役立つ実践的なヒントが得られる機会になると思います。



演者1

これから始めるECP
—基本設定・手技の工夫・症例選択のリアル—

もり た しゅう
森田 修 先生

順天堂大学医学部附属浦安病院
助教



演者2

ECPの可能性と限界
—導入1年半の経験から—

みう ら ゆうさく
三浦 悠作 先生

高知大学医学部 眼科学講座
学内講師



演者3

ECPの実践管理と注意点

すぎはら かずのぶ
杉原 一暢 先生

島根大学医学部附属病院
講師

日時

2026年 **10月3日(土)**
12:20 ~ 13:20

場所

静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ
第3会場(11F 会議ホール 風)

共催：第37回日本緑内障学会/ファイバーテック株式会社